

美術館のご案内



香川県では、東山魁夷画伯の祖父が坂出市榎石島(ひつじ島)の出身で、本県と縁が深いことから、東山家より版画作品280点余の寄贈を受け、これらの作品を広く鑑賞していただくため、香川県立東山魁夷せとうち美術館を2005年に開館いたしました。

画伯は、本名・新吉の名を祖父から受け継ぎ、風光明媚な瀬戸内の情景には特別な思いと親しみを抱いていたといえます。ゆかりの地・榎石島と、画伯提案のライトグレー色の瀬戸大橋が眺望でき、万葉のロマン漂う歴史的遺産や瀬戸内の美しい自然に囲まれた、心の癒しや憩いの場となる美術館です。

東山 魁夷

1908-1999(明治41-平成11)



制作中の東山魁夷 撮影/寺島照夫

- 1908(明41)年 7月8日 横浜市に生まれ、1911年神戸市に転居
- 1933(昭 8)年 25歳 東京美術学校研究科修了、ドイツに留学
- 1947(昭22)年 39歳 第3回日展に「残照」を出品し特選を受賞
- 1956(昭31)年 48歳 日本芸術院賞受賞
- 1969(昭44)年 61歳 文化勲章受章、文化功労者
- 1981(昭56)年 73歳 10年をかけた唐招提寺全障壁画完成
- 1999(平11)年 5月6日 逝去(90歳)

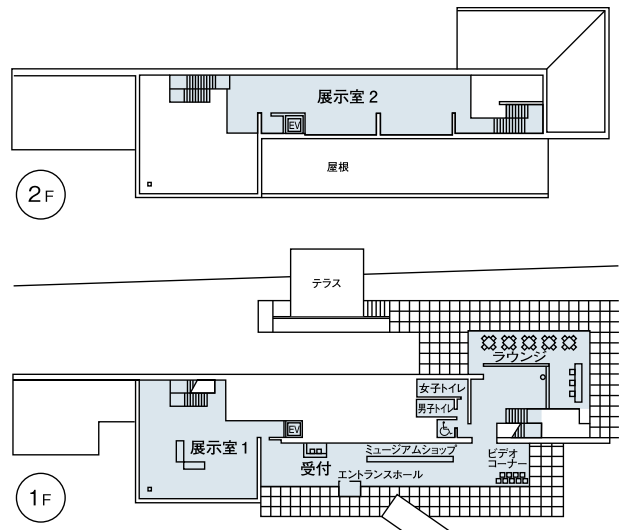
Higashiyama Kai was born in Yokohama in 1908. He completed the graduate course of Tokyo Art School and went to study to Germany. In 1947, he exhibited "Afterglow" in the 3rd Nitten (Japan Fine Arts Exhibition). The works was much admired and was purchased by the government. He decided to concentrate on landscape painting. In 1956, the works "Twilight", which had been exhibited in the 11th Nitten, won the Japan Art Academy Award. In 1969, he was awarded the Order of Culture. In 1999, he passed away at age 90.

施設のご案内



建物は、国際的建築家・谷口吉生氏の設計。海側とオリーブなどの植栽が施された公園側とを隔絶するように、大きな壁が東西に貫いています。真っ直ぐにのびるアプローチから館内へ入り、エントランスを通り抜けて、壁面高6mの1階展示室へ、そして東西に長く伸びた2階展示室を抜けると、1階へ降りてラウンジに至ります。そこで海側に広く視界が開け、雄大な瀬戸内海を目の当たりにすることができます。

美術館では、自然をテーマに描いた画伯の作品を鑑賞いただくとともに、祖父の美しい故郷を思う画伯の気持ちをこの空間で共有していただきたいと思っております。



- 沿革
  - 2003(平成15)年11月 7日 着工
  - 2004(平成16)年11月10日 竣工
  - 2005(平成17)年 4月 9日 開館
- 施設概要
  - 設計 谷口建築設計研究所
  - 敷地面積 4,928.80㎡
  - 建築面積 717.41㎡
  - 延床面積 853.15㎡
  - 1階展示室 140㎡
  - 2階展示室 137㎡



アクセス

- お車でお越しの場合**
  - 【本州方面から瀬戸大橋利用の場合】
  - 坂出北I.C.より4km
  - 【四国内から高速道路利用の場合】
  - 坂出I.C.より8km
  - ※坂出北I.C.はハーフィンターのため、四国側からは降りられません。
- 鉄道でお越しの場合**
  - 【JR坂出駅より】バスか乗合タクシーもしくはタクシーで約20分
  - 【JR宇多津駅より】タクシーで約20分
- 航空機ご利用の場合**
  - 高松空港より タクシーで約40分

時刻表

JR坂出駅北口(バス①番のりば)⇄美術館  
乗合タクシー……………1人片道520円 (片道約20分)  
市営バス(瀬戸町竹浦行)……1人片道370円

坂出駅発 ⇒ 美術館前	美術館前発 ⇒ 坂出駅
09 : 50 乗合タクシー	11 : 15 乗合タクシー※
10 : 50 乗合タクシー	12 : 15 乗合タクシー※
11 : 35 バス	12 : 25 バス
13 : 30 乗合タクシー	14 : 45 乗合タクシー※
14 : 25 バス	15 : 15 バス

※坂出駅行き乗合タクシーは予約制。利用する便の発車時刻30分前までにお電話ください。  
スミレタクシー ☎0120-307-430 (琴参駅センターにつながります)

香川県立東山魁夷せとうち美術館では、年間4回のテーマ作品展と2回の特別展を行います。テーマ作品展は、魁夷の版画作品を中心とする所蔵品から、季節や取材地などのテーマに基づいて作品を選び紹介するものです。

Kagawa Prefectural Higashiyama Kaii Setouchi Art Museum offers four times Exhibitions (from museum collections) and two times Special Exhibitions on a year.

■ 観覧料 Admission Fee

	一般 Adults	20名以上の団体料金 group rates for 20 and more
春・秋の特別展 Special Exhibitions	620円 (yen)	490円 (yen)
テーマ作品展 Exhibitions from Museum Collections	310円 (yen)	240円 (yen)

※高校生以下、満65歳以上の場合は無料(当館受付にて証明書等を提示してください)  
※2021年5月18日(国際博物館の日)は入館無料です。

\*Free entry to high/junior high/elementary school students.  
\*Free entry for senior visitors aged 65 and over.  
Please show proof of age (driver's license, passport, etc.) at the ticket office.  
\*Free admission on May 18, 2021. (To celebrate International Museum Day.)

■ 開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
Open 9:00AM-5:00PM [Last entry 4:30PM]

■ 休館日

月曜日(休日の場合は開館、翌日火曜日が休館)  
年末年始(2021年12月27日～2022年1月1日)

展示替えのための休館日

・2021年4月5日～9日 ・5月24日～26日  
・7月12日～14日 ・9月13日～17日  
・11月8日～10日 ・2022年1月24日～26日

※ゴールデンウィークを含む4月27日～5月9日、学校夏季休業日を含む7月20日～9月5日の期間は休館日なし

Closed

Monday [Tuesday, when Monday is a national holiday]  
Year-End and New Year [Dec.27-Jan.1]

Exhibition changing periods

[Apr.5-9, May.24-26, Jul.12-14, Sep.13-17, Nov.8-10 2021, Jan.24-26 2022]

※Open every day [Apr.27-May.9 and Jul.20-Sep.5 2021]

■ ラウンジ・カフェ

四国八十八景選定

瀬戸内海に浮かぶ魁夷の祖父が生まれ育った  
樫石島を眺望することができます。

カフェ営業時間 / 午前9時30分～午後4時30分  
(午後4時オーダーストップ)

Lounge/Café

Refreshments are available at Cafe at Lounge  
with a splendid view of Hitsuishijima Island in the  
Seto Inland Sea, where the grandfather of Kaii  
were born and brought up.  
9:30AM-4:30PM [Last order 4:00PM]

■ ミュージアムショップ

当館が所蔵する作品の絵はがきや額絵、便箋、  
コーヒーカップなどオリジナルグッズを販売して  
います。

The Museum Shop offers a variety of items that  
have been made based on the museum  
collections. Souvenirs on sale here include  
postcards, mugs, etc.

春 Special Spring Exhibition  
の特別展

2021年 4月10日(土)～5月23日(日)

資生堂アートハウス名品選一椿に集う画家たち

1・2階展示室 1st/2nd Floor

「資生堂アートハウス」は、国際的な建築家である谷口吉生氏が設計した文化施設(当館を含む11館)で構成する建築交流ネットワークに参加しており、開設1919(大正8)年の歴史を誇る「資生堂ギャラリー」(銀座)で開催されてきた「椿会美術展」などの出品作を中心に、近現代の優れた美術品を収蔵しています。本展では同館の協力を得て、選び抜いた日本画家10人の名作と、東山魁夷原画の貴重なタピスリーを展示し、谷口吉生建築と現代日本画が調和する洗練された空間を紹介します。



山口蓬春 椿 [資生堂アートハウス蔵]  
YAMAGUCHI Hoshun "Camellia"  
Shiseido Art House

第1期テーマ作品展 Exhibition from museum collections 1

2021年 5月27日(木)～7月11日(日)

1階展示室 1st Floor

青への祈り

夜の静寂や自然の霊気を感じさせる、魁夷の青い色調の作品を紹介します。心の平穏を取り戻したい時、見つめるほどに深い静けさを与えてくれるような、色彩の力が満ちています。



瀟江月明(木版画)  
Li-jiang by Moonlight

2階展示室 2nd Floor

風景と語る

絵画作品と画家の人生とは切り離せないもの。風景と向き合い「風景は心の鏡」と記す魁夷が、その時々々の境遇や心情を、自然に寄せ、情景に託して描いた作品の数々を紹介します。



若葉の径(セリグラフ)  
Path of Young Leaves

第2期テーマ作品展 Exhibition from museum collections 2

2021年 7月15日(木)～9月12日(日)

1階展示室 1st Floor

風景を駆ける

白馬が描き込まれた風景画と、その同取材地や近隣を描いた作品を紹介します。スケッチのために国内外の多くの取材地を訪れた魁夷の、駆け巡る旅の記憶をつなぐように辿ります。



綿雲(リトグラフ)  
Fleecy Clouds

2階展示室 2nd Floor

欧州への旅

ドイツや北欧など、ヨーロッパの旅から生まれた作品を紹介します。普遍の美を求めた魁夷の歩みは、調和のとれた街や保護の行き届いた自然の中へ、導かれるように進んでいきます。



エルシノアの街(紙本彩色)  
In Elsinore

秋 Special Autumn Exhibition  
の特別展

2021年 9月18日(土)～11月7日(日)

岩倉壽一 自然を掬う

1・2階展示室 1st/2nd Floor

本県三豊市出身の日本画家、岩倉壽(1936～2018)は、山口華揚(1899～1984)率いる画塾・晨鳥社において研鑽を積み、東山魁夷と同じく日展を活躍の場として作品を発表しました。戦後間もない世代が拓いた新しい技法-日本画の伝統的画材を用いながらも厚みのある筆遣いで風景や静物を描き、淡く儂い自然をとらえる世界観を築いた岩倉壽の作品を中心に、伝統を受け継ぎつつ切り開いた画家の軌跡を展覧します。



岩倉壽 沼 [香川県立ミュージアム蔵]  
IWAKURA Hisashi "Marsh"  
The Kagawa Museum

第3期テーマ作品展 Exhibition from museum collections 3

2021年 11月11日(木)～2022年 1月23日(日)

1階展示室 1st Floor

森と湖-水面の鏡

緑豊かな森が水面に映る様子や、澄みわたる深い湖の透明感など、国内外の自然を描き続けた魁夷の、みずみずしい風景画の数々を紹介します。清澄な緑の風景に心が洗われます。



みづうみ(リトグラフ)  
Lake

2階展示室 2nd Floor

山と雲-水の流転

不動と動の対比を象徴する画題でもある、山と雲。自然の生々流転を体得した魁夷が数多く描いた山水の表現を紹介します。写実を極めながら自らの精神を込めた重要な画題です。



山霊(リトグラフ)  
Spirit of the Mountain

第4期テーマ作品展 Exhibition from museum collections 4

2022年 1月27日(木)～4月3日(日)

1階展示室 1st Floor

下図-絵画の設計図

絵の草稿である下図を整えた後、その輪郭を本紙に写すという丁寧な手順が日本画では大切にされます。鉛筆で描かれた魁夷の下図を展示し、日本画の制作過程を紹介します。



月光(大下図)  
Large draft for "Moonlight"

2階展示室 2nd Floor

自然を詠う、折々の風景

魁夷の風景画には、四季折々の自然への讃美が込められています。日本の美の根源でもある自然を愛でる感性が生み出した、古くから詠まれた歌や文学などとともに紹介します。



曙(リトグラフ)  
Dawn